

# まちかど

# アルバム

## 家族みんなで楽しめた かにフェスタ

賀露町西3丁目

11月26日(土)、マリニピア賀露周辺で行われた「とっとりかにフェスタ2011」。会場に隣接するとっとり賀露かにっこ館では、かにの甲羅投げやグラウンド・ゴルフなどのゲームコーナーが数多く設置され、訪れた家族連れを楽しませていました。なかでも、松葉がにの生息する海水温である約1.6℃のプールに手をつける冷水がまん体験には、大人も子どもも一緒に「手が死んでしまふ」と、あまりの冷たさに思わず叫んでしまいました。

がまん体験を終えた子どもは、「松葉がにがこんなに冷たい場所に住んでいることを知らなかった」と驚いていました。館の外ではホンモロコすくいコーナーが設けられ、ここにもたくさんの子どもたちが参加。ほとんどの子どもが金魚よりも大きいホンモロコに紙を破られてしまう中、見事12匹をすくい上げた井上尊さんは、「家に帰ってたくさんご飯をあげる」と、嬉しそうに手にしたホンモロコを眺めていました。



## 池田家墓所ライトアップ

国府町宮下

11月20日(日)から12月10日(土)まで、地域の紅葉の名所である池田家墓所のライトアップが行われました。これは、宮下地区まちづくり協議会が、昼間の鮮やかな紅葉とは違った魅力を感じてもらおうと、今年初めて行ったものです。期間中、寒い日が続きましたが、写真愛好家をはじめ、訪れた人たちが競って紅葉を撮影。様々な角度から思い思いのベストショットを写していきましました。同協議会の会長は、「見事な紅葉を多くの人に楽しんでもらえるよう、PRを強化したい」と、来年に向けた意気込みを語りました。

## しょうがでまち興しを

気高町日光

11月上旬から中旬にかけ、日光生姜生産組合の会員によるしょうがの収穫作業が行われました。日光集落は、その昔、鹿野城主亀井茲矩公が東南アジアからしょうがを持ち帰り、栽培を始めた地域とされています。この日光をしょうが栽培の盛んな地にしたいと、会員らは集落内の休耕田を利用して1.2トンの種しょうがを植え付けて栽培。今年、約4トンの収穫になりました。このしょうがは、適度な温度と湿度が保たれた、サラサラの土の中で貯蔵する「しょうが穴」で熟成されることで、辛みとおいしさが更に引き出されます。



## 御子岩のしめ縄取り換え

河原町片山

12月6日(火)、ハンググライダースポットとして有名な霊石山で、毎年恒例である御子岩のしめ縄取り換え作業が行われました。しめ縄は片山老人クラブの有志8人が午前中かけて作成。高さ4.8m、周囲16mの大きさの御子岩に登り、古いしめ縄と交換しました。「もう少し上げた方がよい」、「去年はこの位置だった」と、高さや飾りの位置を入念に確かめ、最後にお神酒をかけて拝みました。作業を終えたみなさんは、「今年も良いしめ縄を飾ることが出来て、無事に新年を迎えられる」と喜んでいました。



## コックさんの腕前は？

佐治町加瀬木

佐治地区公民館主催の「男の料理教室」が、11月18日(金)、佐治地区保健センターで開かれ、親子連れなど17人が参加しました。食生活改善推進員の指導のもと、たっぷりのねぎソースをかけたカレイの唐揚げやスープなどに挑戦。野菜の切り方がおぼつかなかったり、ソースの味付けに手間取ったりと悪戦苦闘しながらも、完成した料理は、「美味しいし、盛り付けも良い」、「これなら家でも作れる」と、味も見た目も満足なものでした。即席のコックさんでしたが、きっと家でもその腕前を披露してくれるんじゃないでしょうか。



## 親しいあの人へ、手づくりの「ごあいさつ」

上町

12月10日(土)、やまびこ館で多色刷り版画の年賀状づくりが行われました。これは、2枚の版画を刷り合わせて1つの絵に仕上げるもので、例年とは違うオリジナルの年賀状を出そうとする人たちが集まりました。参加者は、準備された見本や持参したイラストを版に転写。色を出す部分が残るよう、慎重に彫り進めました。刷りでは、2枚の絵が上手く重ならず苦労しましたが、最後には納得のいく仕上がりに。「丸みの部分が難しかったが、味のある仕上がりでよかった」、「頑張って80枚刷ります」と、会場を後にしました。



## 力作の紙飛行機で記録に挑戦

青谷町青谷

11月20日(日)、青谷町農林漁業者トレーニングセンターで、「おやじの紙飛行機全国大会・青谷小学校大会」が行われました。紙飛行機は、材料や大きさなどの共通ルールを基に親子で協力しながら制作したものです。この日は、カラフルに彩られたオリジナルの紙飛行機を持ち寄り、主催の青谷地区公民館、青谷小学校おやじの会のみなさんと一緒に飛行距離を競い合いました。参加者の平均飛行距離で競う全国大会の前哨戦。今回の記録は10.6mと、全国でも上位を狙える結果に、参加者は大会への期待を膨らませています。